

# 就任のあいさつ



福島県中学校長会長 佐藤 晃  
(福島市立福島第四中学校)

今年度、福島県中学校長会会長を拝命いたしました。もとより微力ではございますが、ご支援とご協力をいただきながら、会長職を務めさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、伊藤隆幸前会長様をはじめ本年3月末をもってご勇退されました校長先生方のご功績に敬意を表しますとともに、長年にわたるご指導に対しまして、心より感謝を申し上げます。特に昨年度は、本会の創立70年記念式典及び第46回研究協議会県中県南大会の開催、並びに東北地区中学校長会研究協議会山形大会、全日本中学校長会研究協議会鳥取（米子）大会への参加等にご協力いただきました。また、各専門部会等の活動を各支会の中心となって積極的に推進いただき、多くの成果を得ることができました。今後とも大所高所よりご指導とご助言を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、急速な社会の変化とともに、矢継ぎ早に教育改革が進行する中、新学習指導要領の円滑な実施や、いじめ、不登校、虐待、SNSに係る問題等への対応、学校における働き方改革の推進など学校が抱える課題は山積しています。

一方、本県においては、東日本大震災及び原子力発電所事故から8年が経過し、昨年春には新たに5町村を加え、合わせて10市町村において、小中学校が地元での再開を果たしました。しかし、未だ故郷を離れ福島県内外に避難している18歳以下の子どもの数は、平成30年4月1日現在で、1万7千人を超えています。さらに、再開後も続く児童生徒数の小規模環境や廃炉作業の危険など多くの課題が残されています。

このような中、本会の運営に当たっては、様々な状況下にある各学校の実態を踏まえ、「教育活動の正常化と当面する諸課題の解決」という基本方針の基、次の4つの観点を重視しながら、各専門部会を中心に年間の活動計画に従って事業を展開してまいります。

- 1 校長会は、校長自らの見識・資質等を高める研修の場であることを踏まえ、その成果等の効果的な活用(教育行政への提言等)を推進します。
- 2 「全日中教育ビジョン」を踏まえ、学校からの教育改革に努めます。
- 3 教職員としての誇りと使命感をもち、不祥事の絶無に努めます。
- 4 教育諸条件の整備・充実と教職員の処遇改善に努めます。

今後、私たち校長は「学校は復興のシンボルであり、復興の活力源である」ことを肝に銘じ、福島復興・創生に寄与すること、さらには、学校経営の最高責任者としてのリーダーシップを発揮し、教育課程の効果的な運用と教育環境の整備を図りながら、子どもたちに求められる資質・能力を身に付けさせることが肝要であります。

「校長会はひとつ」を合言葉に、各支会との連携を密にし、会員の総力を結集するとともに、県及び各市町村教育委員会、並びに関係機関等のご指導とご支援を賜りながら、本会の組織的で継続的な活動を通して、諸課題の解決に全力で取り組む考えであります。

終わりに、子どもたちが郷土への誇りと自信、将来への夢と希望をもち、福島復興・創生を担う人材として成長するために「生き抜く力」と、「よりよい社会を形成する力」を育めるよう会員の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます、就任のあいさつといたします。